

デザインに関する注意事項

彩色について

できるだけ濃くはっきり彩色してください。

イメージカラーのピンクについて



ブランデュエ弘前FCのイメージカラーであるピンクは**純粋なマゼンタ**です。デザインする際はこの色をベースとしてお考えください。黄色みがかかったピンクや青みがかかったピンク、黒ずんだピンクなどは仕様不可とします。ただし表現の幅を広げるため、マゼンタの割合で濃淡を出すのは可とします。

【使用できるピンクの例】



マゼンタの割合▶



100%



80%



60%



40%



20%

※重要

使用する画材の中にマゼンタがない場合は、できるだけ類似の色(ピンク)を使用してデザインしてください。

ただし、デザインが採用された後に多少の色調整が入る場合がございます。あらかじめご了承ください。

【使用できないピンクの例】



※黄色みがかかったピンクや青みがかかったピンク、くすんだピンクなどは**使用不可**とします。

ピンクの面積

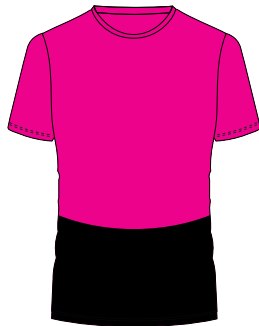
差し色としてピンク以外の色味を使用するのは構いませんが、**ピンクの面積を70%以上、その他の色は約30%以内**におさめてください。

※70%はあくまでも目安です。厳密に計算する必要はありませんが、下記の例を参考にデザインしてください。

【ピンクを70%以上使用した例】



ピンク：約73%



ピンク：約70%



ピンク：約73%



ピンク：約87%



ピンク：約70%



ピンク：約72%



ピンク：約75%

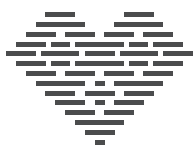


ピンク：約71%

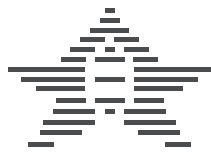
こぎん模様について

ユニフォームのどこかに必ず入れていただくことが条件の「こぎん模様」についてですが、**オリジナルの模様でも、伝統的な模様を参考にさせていただいてもどちらでも結構です。**

〈オリジナル模様の例〉

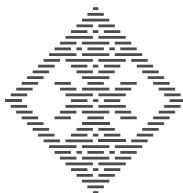


ハート型



星型

〈伝統的な模様の例〉



「津軽こぎん刺し 技法と図案集: 基礎知識・基本と応用技法・モドコの図案を収録した決定版」弘前こぎん研究所 監修
伝統的なこぎん模様の参考文献 「こぎん刺しの本 津軽の民芸刺繍」布芸展（福田里香、束松陽子）著
「連続模様で楽しむ はじめてのこぎん刺し」日本文芸社 編集

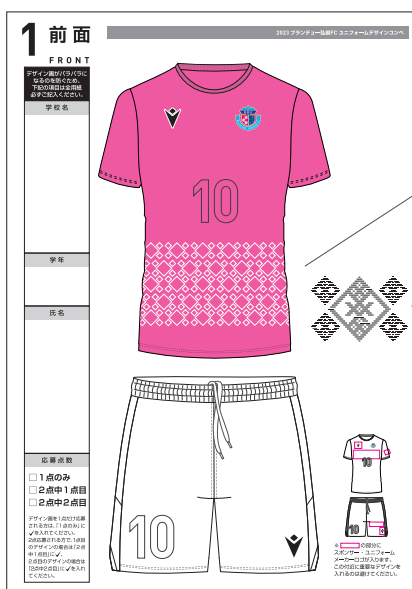
こぎん模様の描き方について

テンプレートにこぎん模様を描く際は、入れる位置・面積・大きさなどが、だまかに伝われば問題はありません。
(デザインが採用された場合には、数回打ち合わせをさせていただき、細かい部分を調整させていただきます。)

下記の例のように、余白部分に模様を一つ拡大して描いていただくと模様のデザインがより伝わりやすくなります。
(余白部分だと足りない場合は、作品PR用紙の「②作品アピールポイント」欄に記入していただいても構いません。)

また、伝統的な模様を参考にされた場合などは、参考にした画像などを貼り付けていただくのも結構です。

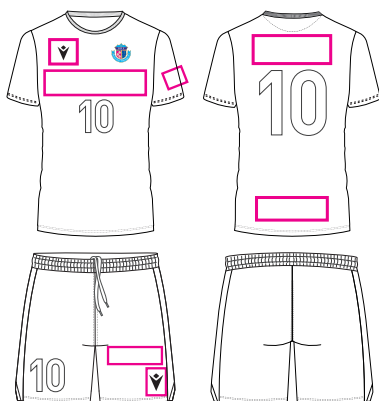
〈例〉



テンプレート枠内には、こぎん模様の位置・面積・大きさがだまかに伝わるように描いていただければ問題ありません。

余白の部分や、作品PR用紙の「②作品アピールポイント」欄に模様を拡大したものを描いていただくと、模様のデザインがより伝わりやすくなります。

スポンサーロゴについて



左の図の の部分には、スポンサー・ユニフォームメーカーのロゴマークが入ります。この付近に、重要なデザインなどを配置するのはなるべく避けてください。

今シーズンのユニフォーム



以上の注意点を守って素敵なデザインをご応募ください!